

今月の安全運転管理

交差点 危険に備える 年度末

①交差点関連事故の防止

- 一時停止と安全確認の徹底を指導する
- 余裕を持った管理体制で「急ぎの心理」に陥らせない

②二輪車の交通事故対策を指導

- 二輪車の特性から事故防止対策を学ぶ



一時停止と安全確認の徹底を指導する

三月になり年度末の慌ただしさから、「急ぎの心理」に陥りやすくなるおそれがあります。

さらに三月は、県内の過去五年間の事故統計を見ても、交差点や交差点付近での交通死亡事故が上半期最多となっています。その事故原因として、一時不停止や信号無視、安全確認など、時間と心に余裕がない運転が考えられます。

そこで、一時停止標識や停止線がある交差点では、一車を確実に停止して周囲の安全を確認する「ことを徹底させてください。儀式的に車を止めてすぐに発進する行為は、安全を確認したとは言えないことを指導しましょう。

見通しの悪い交差点では、一時停止線の直前で停止して安全確認の後、左右が見通せ

る位置まで徐行で進んで再度停止し、左右の安全を確認して交差点を通過する多段階停止を習慣づけさせましょう。

余裕を持った管理体制と管理者による声かけを行う

「急ぎの心理」に陥らないためには、スケジュールに余裕を持たせた運転計画を立てることはもちろん、出発前の運転者に「時間は気にせず安全に」などと積極的の声かけを行いましょう。

また、朝礼や点呼時に顔色が優れない等の体調不良の運転者が見られた場合や本人からの申告があった場合には、運転を交替できるように、予備の運転者を配備するなど余裕を持った管理体制を整えましょう。

二輪車の特性を周知し事故防止対策を強化する

県内の過去五年間の事故統計では、三月は交差点事故

とともに二輪車運転者の死者も上半期最多となっています。また、全国の事故統計（令和一年十一月末）を見ても、事故件数、死者数ともに減少するなか、二輪車乗車中の死者が増加しています。

そこで、二輪車事故を防止するため、次に挙げる二輪車の特性と、それに沿った事故防止対策を指導しましょう。

● 実際より遠くに、スピードも遅く感じられる

右折待ちの際、対向二輪車が直進してきた際は、その距離や速度を錯覚しやすいため、その動静に注意する

● 死角に入りやすい

交差点を左折する場合や車線変更時は、後方左側に二輪車が走っていないか、早めに確認したうえで、サイドミラーだけでなく、目視による安全確認を徹底する